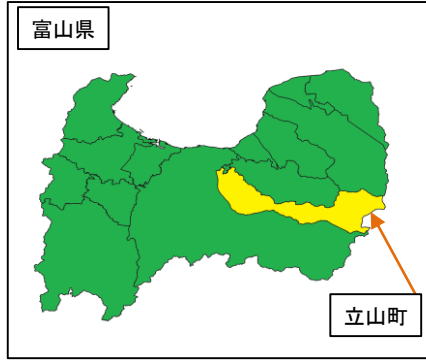


四谷尾集落協定（富山県中新川郡立山町）

- 集落で地域の将来像を話し合い、都市農村交流施設や加工施設の整備、集落営農組織の法人化を進め、6次産業化により地域所得が向上し、後継者育成や外部人材を確保。

協定面積:田 45.7ha(急傾斜:19.2ha・緩傾斜:26.5ha) 交付金額:807万円
 協定参加者:農業者30名、農業法人1、施設管理組合1、農業者以外5名 協定開始:平成14年度



地域の現状

- 当集落協定地区は、立山町東側の山麓に位置し、町中心部から比較的近い地域。
- 集落の農業者の高齢化と後継者不足により、将来の農地の維持管理が危惧されたことから、平成14年度から本制度を実施。
- 都市農村交流施設整備「立山自然ふれあい館」を拠点に、「カブトムシやクワガタなどの昆虫とのふれあい体験」、「竹の子掘り体験」などの都市農村交流活動や、集落の保育園児の「サツマイモ植付け・収穫体験」を実施。
- 集落営農組織の法人化や県単事業による加工施設整備等を契機に、農産物加工販売を開始。



【協定農用地】



【都市農村交流施設】

取組の概要

- 協定農用地の8割を担い手へ集積し、効率的な生産体制により耕作放棄地発生を防止。集落ぐるみで水路・農道等の草刈など共同活動の実施と、地域おこし協力隊の受入れにより、農業生産活動等を維持するための体制を構築。
- 電気柵や耐雪型侵入防止柵のほか、農道横断部にイノシシ侵入防止対策ロードマットを試行的に設置し、獣害対策を強化。
- 立山山麓の棚田米「山のいただき」、柚子、ラ・フランスジュースやウリ等地元野菜の漬物等加工品の直売所販売等により、地域所得が向上。
- 令和2年度から、本制度の棚田地域振興活動加算措置を活用し、スムーズな世代交代を図りつつ、防除用ドローン導入による棚田保全や棚田周遊イベント開催等の棚田地域振興等に取り組む。



【イノシシ侵入防止対策ロードマット】



【棚田米「山のいただき」】



【柚子・ジュース等】